

平成元年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動」

◎ まえがき 部会長 若松 義明

- ・ 本年度は新学習指導要領の趣旨徹底である。次の点を重視する。「特別活動の基本的な性格は現行どおりとするが、学校や児童生徒の実態に応じて一層弾力的に指導が行われるようにすること」
- ・ 緊急の課題は、各学校の特別活動の「全体計画」及び「各内容ごとの指導計画を作成すること」。

◎ 新学習指導要領の実施に向けて 指導主事 沼田 稔

- ・ 指導要領の改訂に伴い、市教育課程の編成を進めた。その要点は次の2点である。
『「学級会活動」と「学級指導」を統合して「学級活動」とする。』
『自然との触れ合い、奉仕や勤労の精神の涵養にかかわる体験的な活動を重視する』

◎ 子供の活動が息づく教室環境 指導主事 三輪 一彦

- ・ 一人一人の活躍の様子が記されているような教室環境は、この学級の雰囲気をつくる大切な要素となっている。
- ・ 子供たちの活動が息づく教室環境が構成されていてこそ、研究効果が上がる。

第1部 小学校編

◎ 一人一人に活躍する喜びを味わわせる学級会活動

- 1 進んで問題解決に取り組む話し合い活動の指導
- 2 一人一人が積極的に参加する話し合い活動の指導
- 3 みんなの願いを生かした係活動の指導
- 4 活動する喜びを味わわせる係活動の指導
- 5 期待感と成就感を味わわせる集会活動の指導
- 6 やり遂げた喜びを味わわせる学級集会活動の指導
- 7 みんなでつくる喜びを味わわせる学級集会の指導

◎ 全校児童の交流を深める児童会活動

- 1 心の触れ合いを図る全校集会活動の指導
- 2 全校児童の参加意欲を高める全校集会活動の指導
- 3 仲間意識を育てる全校誕生集会の指導
- 4 身の回りの問題点の解決を図る代表委員会の指導
- 5 代表委員と一般児童の相互理解を深める代表委員会の指導
- 6 低学年の児童とのつながりを大切にする代表委員会の指導

◎ 生き生きと活動させるクラブ活動の工夫

- 1 実践例1 <パズルクラブ>
- 2 実践例2 <パフォーマンスクラブ>
- 3 実践例3 <一輪車クラブ>
- 4 実践例4 <バドミントンクラブ>

5 実践例5 <サッカークラブ>

- ◎ 温かい人間関係を培う学級指導
 - 1 「学級目標」の実現を目指す行動化への指導
 - 2 男女の協調を目指す行動化への指導
 - 3 授業の終末段階と事後の指導から行動化を目指す指導
 - 4 助け合いや協力を目指す行動化への指導

- ◎ 児童の参加意欲を高め満足感を味わわせる学校行事
 - 1 参加意欲を高める運動会
 - 2 児童の参加意欲を高め、満足感を持たせる縦割りいも掘り遠足
 - 3 参加意欲を高める勤労・生産的行事
 - 4 満足感を味わわせるオリエンテーリング

第2部 中学校編

- ◎ みんなでつくりあげる集会活動
 - 1 みんなで分担して計画し、取り組む集会活動
 - 2 学級全員が楽しめる学級お別れ会
 - 3 助け合いの気持ちを育てる学級バレーボール大会

- ◎ 活動意欲を引き出す生徒会活動
 - 1 生徒議会と学級の連携を深めた生徒会活動
 - 2 参加意欲を高める生徒会活動
 - 3 実践的な生徒を育成する学年生徒会活動
 - 4 自主性を高める生徒会活動

- ◎ 実践への意欲を高める学級指導
 - 1 互いの良さを認め合う態度を育てる学級指導
 - 2 協力し助け合う態度を育てる学級指導
 - 3 将来を見通した進路計画ができる力を育てる学級指導
 - 4 将来の生き方を考えさせる学級指導
 - 5 悩みの解決を図っていく学級指導

◎ あとがき

委員長 寺沢 正豊

・新設された学級活動において「教師が中心となって指導する方法」「子供による自主的な活動を中心として行う方法」「教師の指導と子供の自主的な活動を組み合わせて行う方法」の3通りがあり、いずれの場合も、子供の実態や取り上げる内容によって指導方法を工夫することが大切。